

Brainwriting

書くブレスト

Brain Writing Sheet ④ P.001 PLANT

アイデア出しのテーマ

こんなアイデアもOK！～アイデアに詰まったら～

表現方法が、
分からないものでもOK！
 常識外、常識的な
アイデアでもOK！
 自分自身にもないような
発想なアイデアもOK！

判断
理由
 Brainstorming
 実用性
数回

当たり前すぎるかな、
と思うアイデアでもOK！
 似たアイデアが出ていても
少しでも違うならOK！
 他の方のアイデアが
エッセンスをヒントにしてOK！

1			
2			
3			
4			
5			
6			

参考：
ブレインライティングシートの使い方
<http://braster.ocnk.net/page/11>

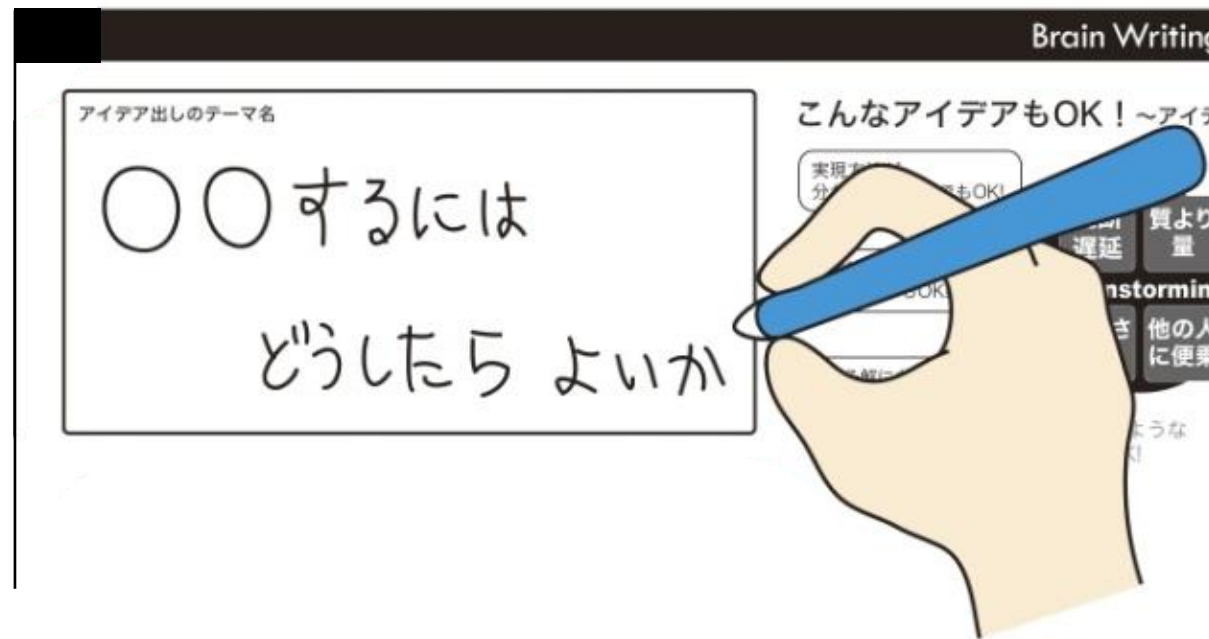
この道具の本質は
「3×6のマス目」

1人1枚持つ



標準 = 6人 (4~8人も可)

テーマを決め、記入する (上の大きいマス)



補足

「職場、プロジェクト」 (実践の場) でのコツ

「リーダ (または、課題持込者)」は
発想するテーマについて、以下を添えて説明

- 思い付いていたこと / 試みたこと / 失敗したこと
- 解決策を実施する権限の度合い
- 理想の解決状態

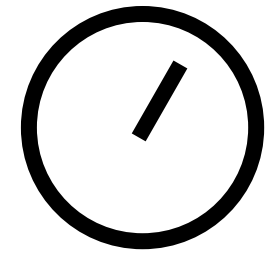
(「どんなことを発想すればいいのか」 (発想の方向性、粒度、意図) が共有できる)

「研修、授業」 (学びの場) でのコツ

「テーマ設定ワーク」 (20分程度) を実施し、
皆が「取り組みたい!」というテーマを作る

(各グループの推進力が引き出せる)

アイデアを3つ書く (1マス、1アイデア)

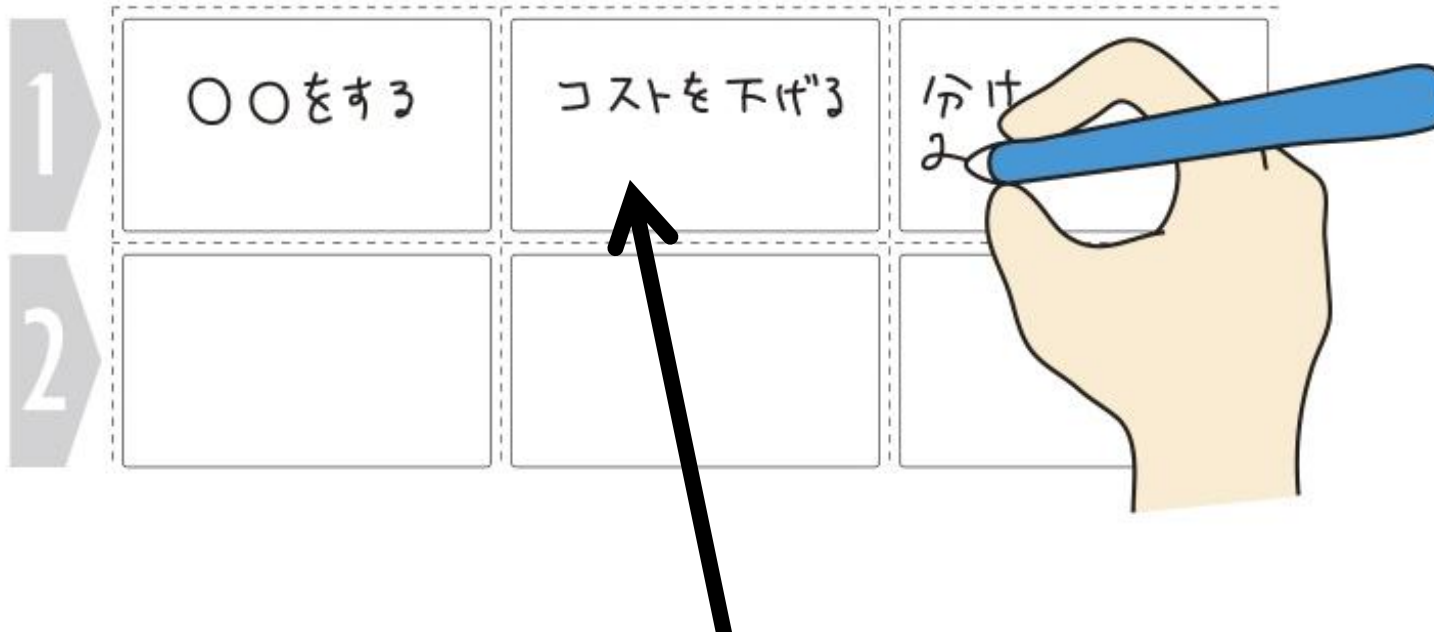


時間 = 5分

(オプション)

5分 ⇒ 3分

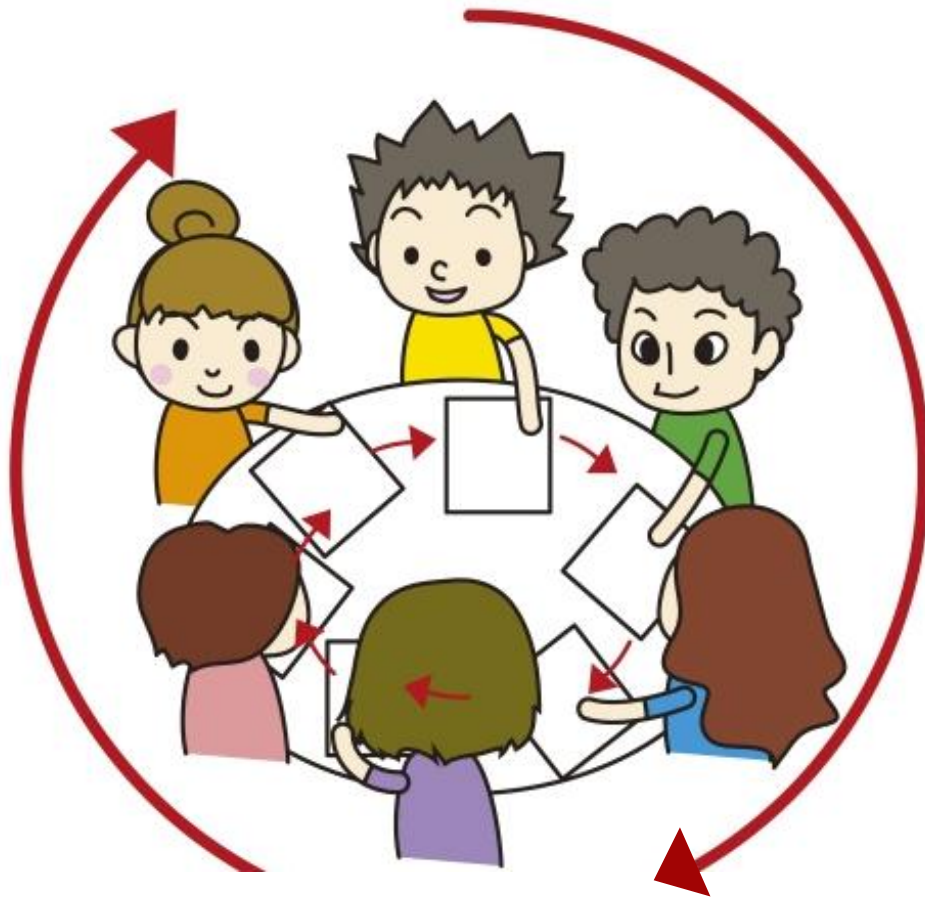
研修やワークショップでは
3分で進行するのも良い



基本的に
ブレストです

- 当たり前なアイデア
 - 有効かどうかよく分からないアイデア
 - 出来るか分からないアイデア
- などでも、結構です。

左の人に回す

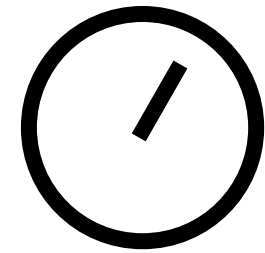


実際的なコツ：

皆が書き終わったなら
「3分間」を待たずに
回しても結構です。

ただし遅い人が
焦ることの無いよう
配慮してください。
(以降も同じ)

アイデアを3つ書く (1マス、1アイデア)



時間 = 5分

(オプション)

5分 ⇒ 3分

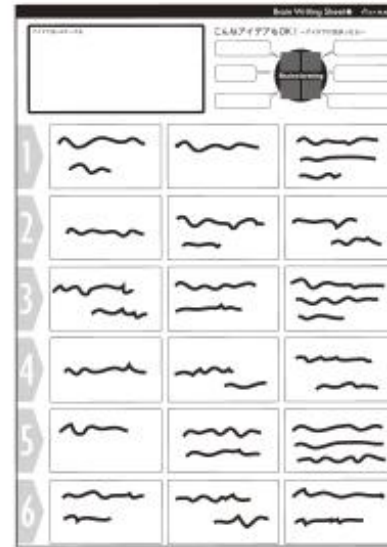
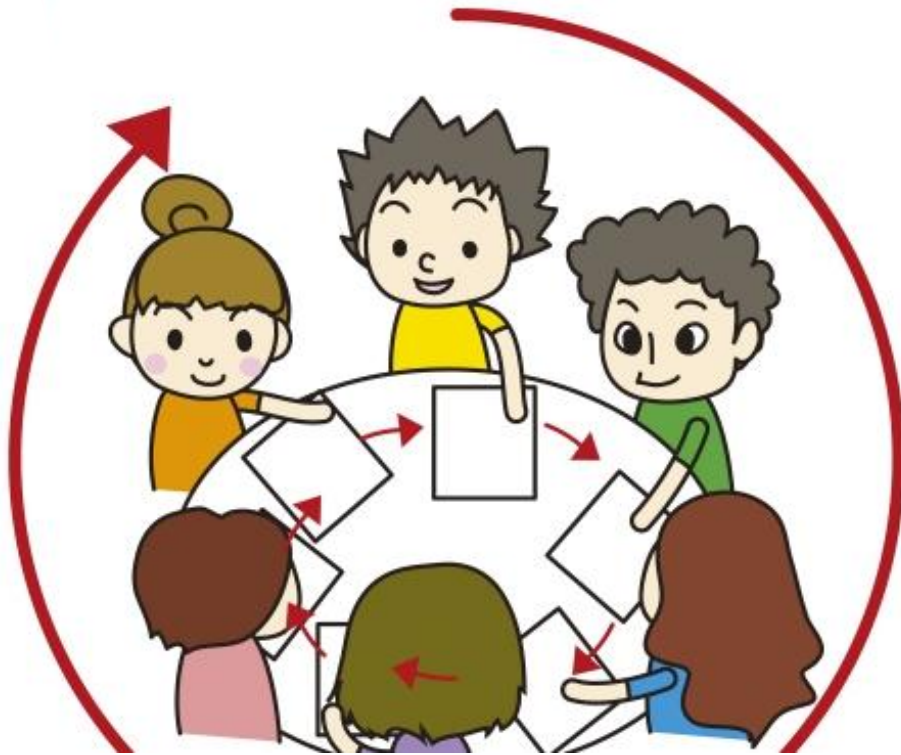
研修やワークショップでは
3分で進行するのも良い



基本的に
ブレストです

- 上の行に書かれているアイデアを展開したアイデアでも結構ですし、全く参考にせず新しいアイデアを書いても結構です。
- さっき書いたアイデアや上に書かれているアイデアと全く同じものはNGです (でも、少し変えればOKです)

6行目まで繰り返す



後半は苦しくなりますが
なんとか埋めてください

絵で描いても、
単語だけでも、
結構ですし、
既出の案を
組み合わせた
アイデアでも
結構です

注) 人数が4人の場合、や、8人の場合でも、6行目が終わるところで完了です
(一周を超えたり、一周回らなかったり、しますが、それで結構です)

数 . . . 108個のアイデア (6人の場合)

人 . . . 6人 (4~8でもOK。60人、200人、でも実施可)

時 . . . 18分 (正式ルール=30分)

道具 . . . ブレインライティングシート×人数分
(シートは手書きでもOK)

ハイライト法

(良案抽出)

沢山のアイデアが出たけど
どれがいいアイデアなんだろう。

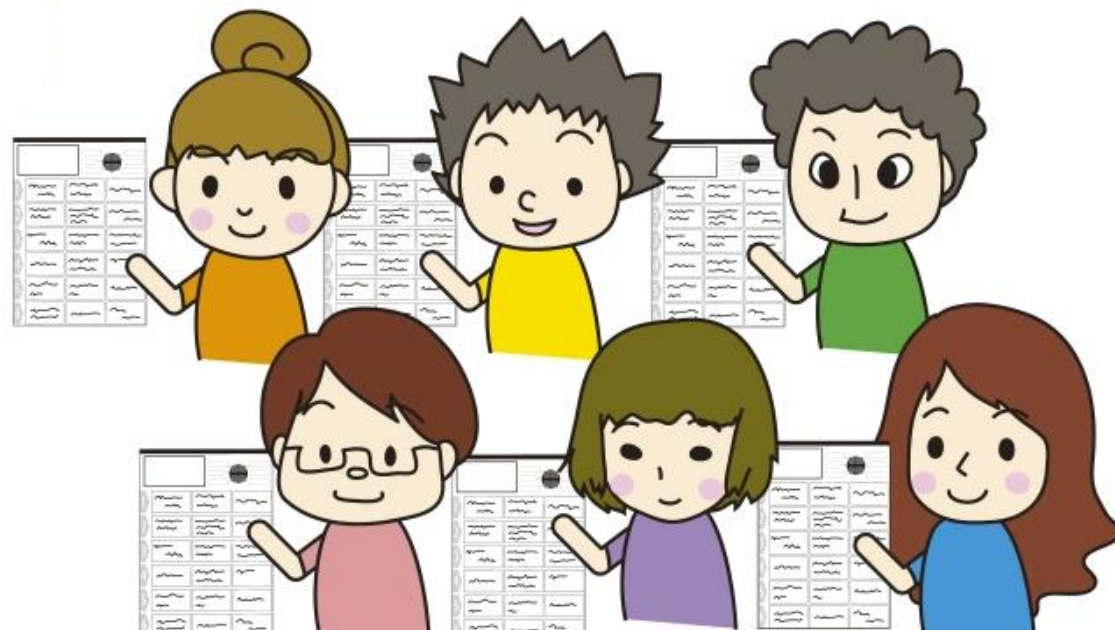
こんなにあると、整理も大変だ・・・

大量のアイデアの中から
優れたアイデアを
短時間で抽出することは難しい？

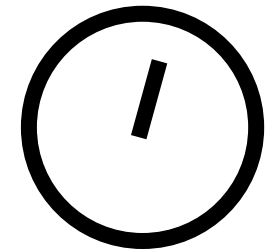


ハイライト法

記入済みシートを1人1枚持つ



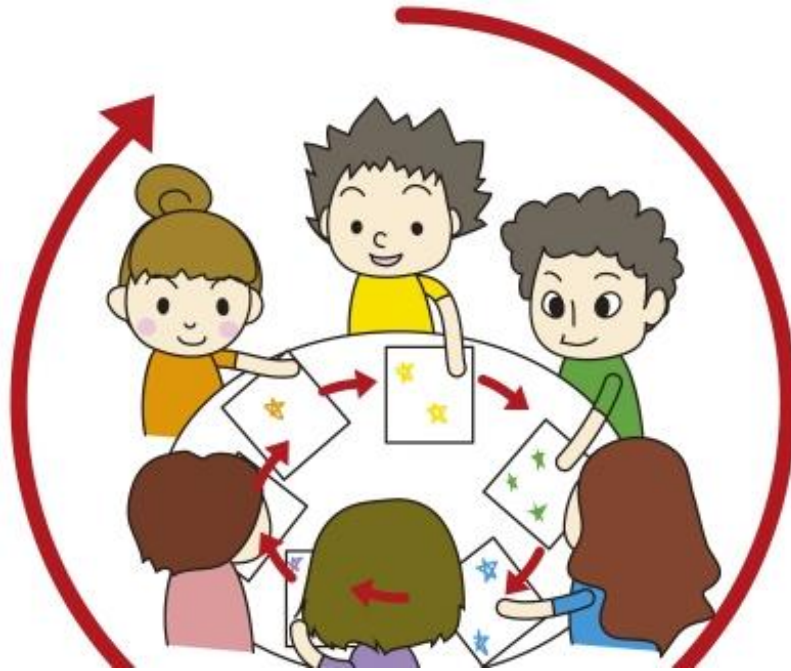
「面白い」「広がる可能性がある」 と思うアイデアに☆を付ける



時間 = 1.5分

複数のアイデアに☆を付けても結構です。
ただし、1つのアイデアに着けられる☆は1つです、
すごくいいからといって、☆を2つ以上つけないでください

付いたら、左の人に渡す



以降は、付け終わったら時間を待たずに、各自、どんどん、回して結構です

二枚目以降も同様に

「面白い」「広がる可能性がある」
と思うアイデアに☆を付ける



既に他人が付けた☆がありますが、
それは気にせず、自分の判断（直感）で付けます

全てのシートに目を通すまで、
これを繰り返す



「☆3つ以上」に太枠を付ける (6人の場合)



目安：グループがN人の場合 ⇒ ☆ N/2個以上

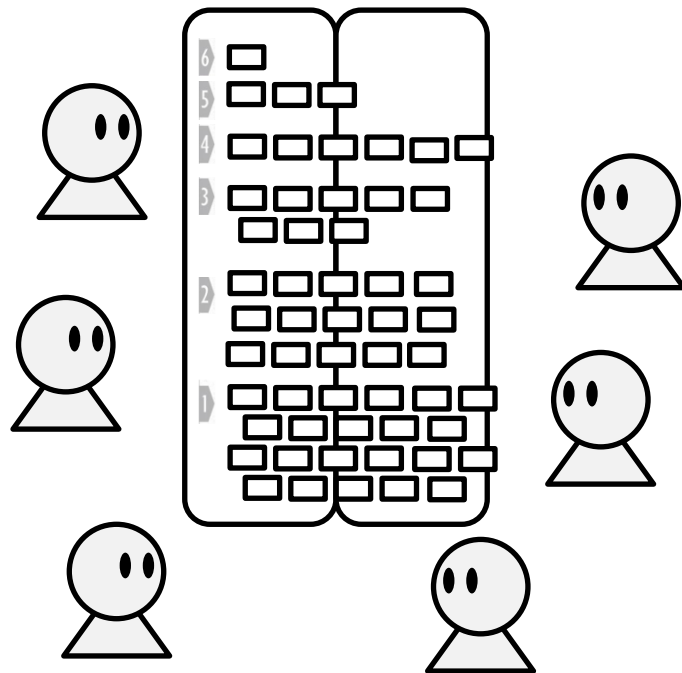
シートを見せ合ってください

(大まかな傾向として、
「4行目」と「6行目」に、
☆が集中することが多い)

⇒出し尽して苦しい (3~4行目) の先に
質が、生まれる

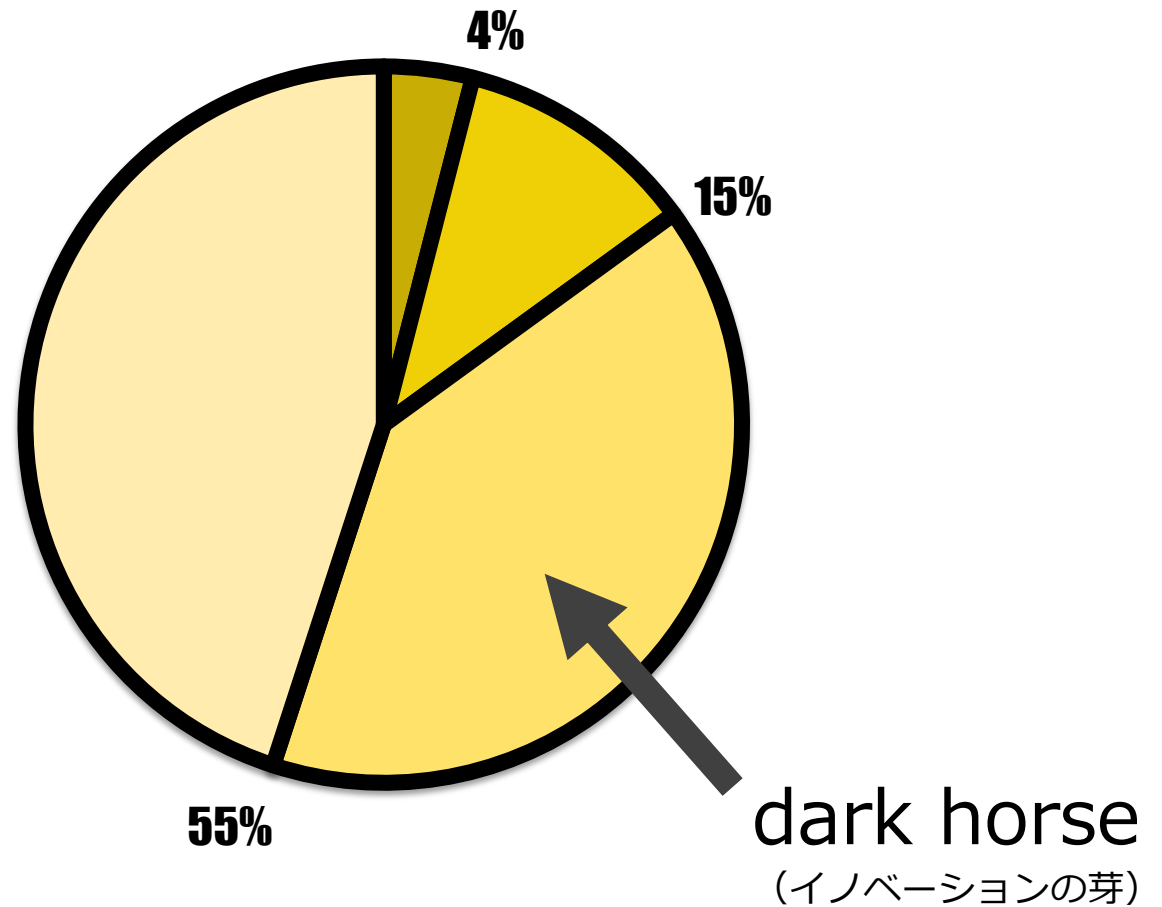


ミシン目で折り曲げ
カード状に切り分け



テーブル中央に、
☆の多い順に並べる

アイデアの質の構造



- 誰も☆を付けない …45% 発想の際の踏み台 (⇒ 外す)
- 一人以上の方が☆を付ける…55%
- 半数以上の方が☆を付ける…15%
- 3/4以上の方が☆を付ける…4% 優秀な案

質の高いアイデアリストを作る手順

大量のアイデアを出し、ハイライト法を行い

step 1) ☆3つ以上（～上位15%）を確保する

**step 2) ☆1～2の中から
1人1つ、アイデアを拾い上げる（～5%）**

step 3) 合わせた物を、整理し、アイデアリストにする

備考：step2は「これはどうしても残したい」と思うもの、又は
「イノベーションの芽となるかもしれない」と思うものを、各人の観点で、拾う

備考

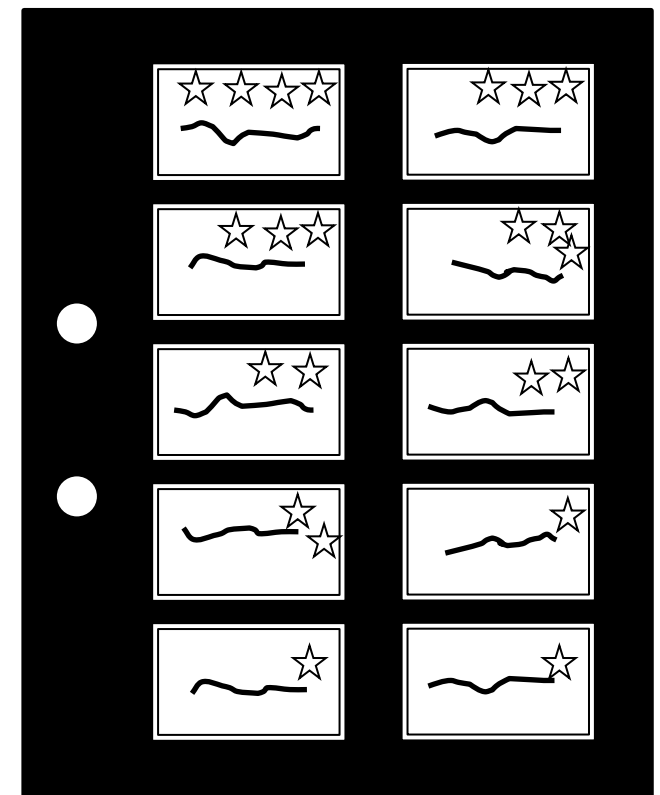
上記は6人で108個のアイデアに適用した場合で表現した数字です。
人数が多い・少ないケースでは、「星3つ以上」では15%から大きくはずれてしまうことがあります。
その場合は、閾（しきい）値となる星の数を上下に変え、step1のアイデアの数を15%程度にしてください。

補足：

カットしたカードは名刺サイズなので
名刺フォルダに入れると
保管やコピーが楽です

このフォルダは
一人で企画作業をする時の
ネタ帳（アイデア・ブック）
にもなります

推奨 = 「☆の多い順に並べる」



良案のレビュー

上位案の潜在可能性を引き出すワーク

(参考：役割付与型ブレストも)

ハイライト法の上位アイデアは、
多くの人々が「興味」や
「発展の可能性」を感じているもの

☆の多い順に上から、発案者が紹介し、
メンバーは

**「感じた可能性」 「アイデアの良い所」
「発展案、別バージョンのアイデア」**

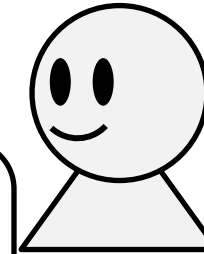
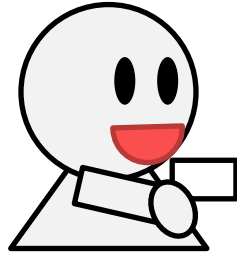
をコメントすることで、
更にアイデアを育てることができる

〇〇を□□する
というアイデアです

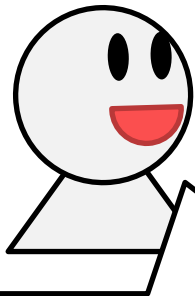
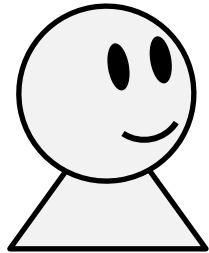
案を紹介
(発案者)



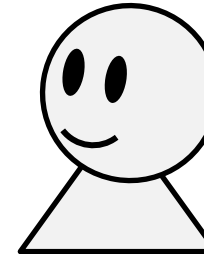
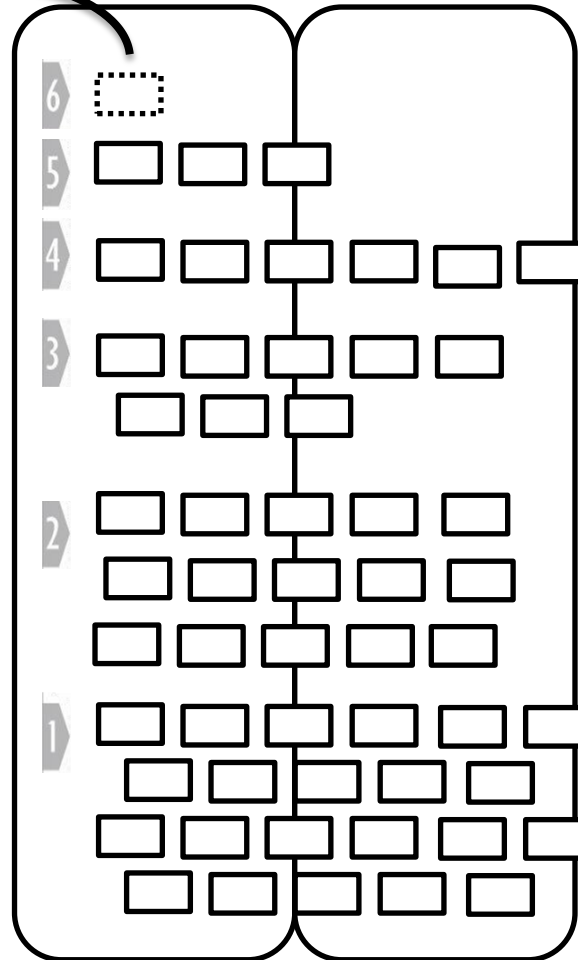
コメント
(メンバー) 「感じた可能性」「アイデアの良い所」
「発展案、別バージョンのアイデア」等



技術的には簡単にでき
そうで、いいですね！



A社と連携開発したら、
特殊な市場への
展開もはかれそう！



目安：
1カード = 1~5分
合計10~30分

「役割付与型ブレスト」を したい場合

各自が仮想の役割を担当し
その観点で、

- 1) アイデアの良い点をコメントします。
- 2) 改良できる余地を見つけ提案します。

ex. 「営業担当」「生産担当」「収益担当」等々
あるいは、IDEAVoteにある「標準的な評価軸」（8つ）を利用

アイデア・スケッチ

アイデアを書き起こす

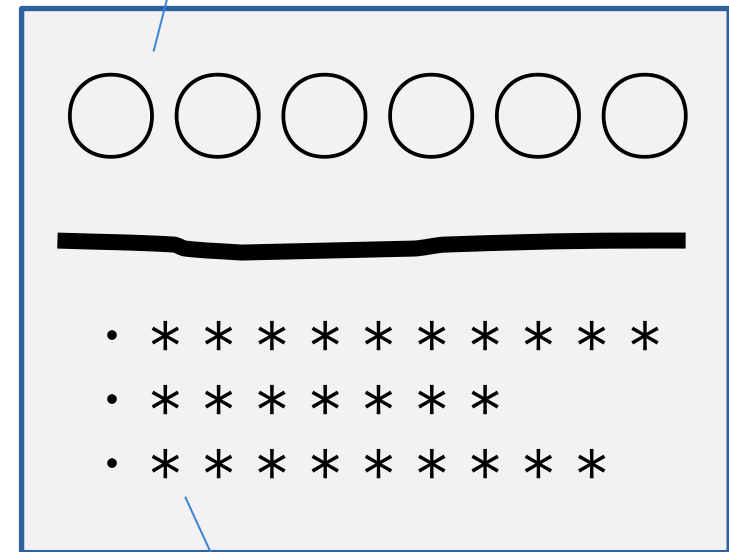
上位アイデアをより具体化したアイデアへ

アイデアの具体化

アイデア・スケッチ
もっとも気に入った
アイデアを書く

目安 = 1人 3枚
8分 (+a)

アイデアのヘッドライン化



補足、詳細、3つまで!

☆の多いアイデアを元にする、書きやすい。
☆の少ないが気に入っているアイデアでも書く。

Work_ アイデア・スケッチ -



-

-

-

ハイライト法

スケッチを左隣に回す。

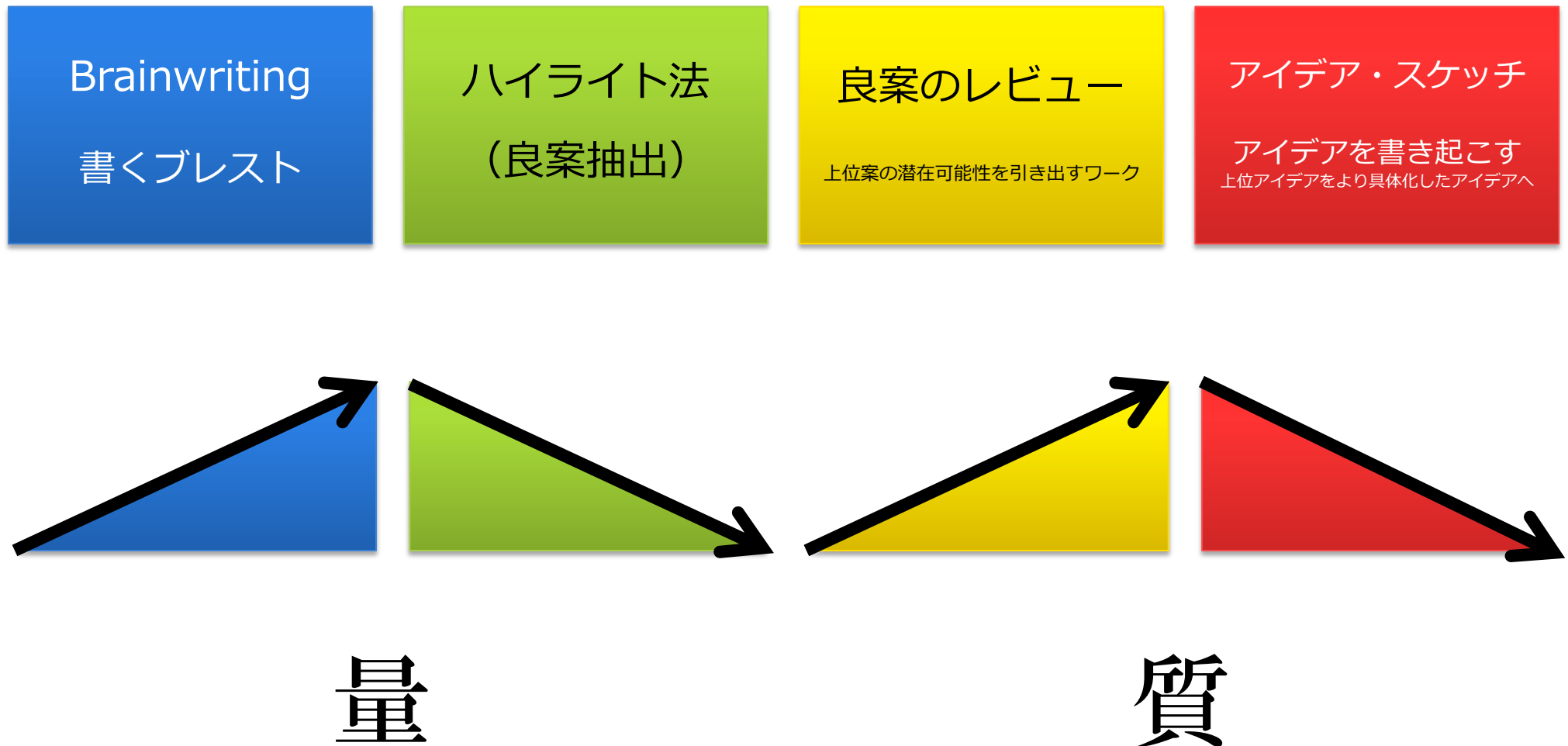
「面白い」又は
「広がる可能性がある」と
感じるものに☆をつける。
一周、回す。

(⇒ ☆の多いもの3つをプレゼン)

振り返り

4つのワークの位置づけ

BWを中心にしたアイデアワークのプロセス



IDEAPLANT